

問

老朽化した空き家住宅の対策は

町長

解体除去の補助金制度を来年度に



たにぐち たけひこ 議員
谷口 武彦

そろそろ「こたつ」から
出られなくなる
季節ですね~

児童虐待の現状

問 コロナ禍の昨今、児童への虐待などのニュースが多いが、本町の現状は。

答 要保護児童対策地域協議会で、虐待を受けた子どもに関する情報交換や支援内容に関する協議を行っている。ここ数年は、年2件程度案件があり各会議を開催している。

問 今まで、親から引き離すような、大きく問題になった事例は。

答 そのようなケースは今のところなく、何回かの実務者会議を行うことで改善され、管理から除外されている。

高齢者の現状

問 高齢者への虐待は。

答 ここ10年以上専門部会は開催していないが、疑われる案件の対応や支援内容などについては協議・検討している。

問 一人暮らしの方が孤独死とならないような対策は。

答 地域での見守り活動や民生委員、地域担当職員、社会福祉協議会での訪問活動などによる安否確認や、緊急通報装置の貸与などのサービスを行っている。

問 高齢者の見守りを地域おこし協力隊の仕事としてみては。

虐待だと思ったら
すぐに電話を

いち はやく
189



安心して暮らせる
まちづくりを

空き家の現状

問 所有者不明や老朽化で危険な住宅の把握は。

答 各町内会、実践会の協力を得ながら調査を行い、把握していく。

問 今後の対策は。

答 空き家は個人の財産であることを前提に、空き家バンク制度の継続に加え、国の補助金を活用した解体に対する助成なども検討する。

問 解体の助成とは。

答 廃屋状態でも壊せない方へ手助けを行うため、解体除去する補助金制度を来年度の政策としてやっていく。

問 空き家バンク制度は、素晴らしい事業だと思うが、若者には、訓子府に住みたいが建てられない、買えない、借りたくても家がないなどの声がある。古い住宅を町が買い上げて、民間の力を借りるなど、改装・利活用を行い、町営の住宅として貸し出すなどの考えは。

答 空き家の総合対策の中で活用も検討が必要である。空き家バンクもあるが、新しいことも考えていく必要がある、今の町営住宅のニーズを10年間の計画で具体化し検討していく。



危険な住宅の解体除去に
補助金制度が！
(令和4年度の予定)



こちらから谷口議員の一般質問を視聴できます